



玉幡小学校 学校だより 第17号

# チーム玉幡

平成30年12月10日(月)  
校長 望月和彦

## ボランティアの方々による学習支援

本校は、「地域の教育力の活用」を特色ある学校づくりの柱の一つに掲げています。これまでもやはた



リメイククラブMの方々

いもづくりの指導やプールの授業の監視、家庭科の裁縫の学習支援、登下校の見守りに、地域の方々や保護者の方々の力をお借りしています。10月には、5・6年生が家庭科の授業で、1学期にもお世話になった「リメイククラブM」の方々に支援をしていただきました。ミシンを使って5年生はエプロンづくり、6年生はナップサック

づくりに取り組みました。20人以上の児童のミシンの操作を1人の教員が指導することはとても大変で、トラブルが同時に起きると児童は教員が来てくれるまで待っていなければなりません。リメイククラブMの方々は、合計で7日間20単位時間も授業に入ってください、毎回4～5人の方が寄り添いながら支援してくれたので、子どもたちはほんとうに助かっていました。全員が満足できる作品を完成させることができました。

12月には、教育祭書き初め大会に向けての取り組みが全校で始まりました。その指導に地域で書道教室を開いていらっしゃる細田初子先生（はな乃さん、いろ葉さんのおばあさん）に、ゲストティーチャーとして来ていただいています。細田先生には昨年度も指導していただいております。一人ひとりの子どもの良さを認めつつアドバイスをしてくださるので、子どもたちのやる気が引き出されぐんぐん上達しています。細田先生には全学年2時間ずつ合計12単位時間指導していただく予定です。年明けの3学期始めに作品を完成させる予定なので、子どもたちには、細田先生からのアドバイスを参考にして、残りの2学期と冬休みに一生懸命練習してほしいと思います。



細田初子先生

終業式直前の18日と19日には、図書館ボランティアの「アリスの部屋」の皆様にご覧いただきまして誠にありがとうございました。1学期には1・2・5・6年生を対象に読み聞かせをしてもらいましたが、今回は1・2・3・4年生が対象です。アリスの部屋の皆様は、本をしつとり読んでくれたり、動作を入れながら物語の歌を歌ってくれたり、人形劇やパネルシアターなどを取り入れたり、様々な工夫を凝らした読み聞かせをしてくれます。子どもたちはいつも大喜びで、本の楽しさを知る機会になっています。



アリスの部屋の方々（7月）

## 玉小も収穫の秋を迎えました

学校菜園にも収穫の秋がやってきました。1年生は春に植えてから、大切に育ててきたさつまいもを10月に収穫しました。生い茂った葉や茎を取り除き、土を掘ると中から立派なさつまいもがたくさん出てきました。だれのいもが一番大きいか、競争しながら子どもたちは掘っていました。



11月22日には家庭科室で、収穫したさつまいもをみんなで調理しておやつを作りました。クッキーに生クリームとさつまいもがのったおやつは、お店で買ったおやつの何倍もおいしかったことでしょう。

3年生は、地域の坂本さんの助けを借りながら育ててきたやはいもを11月29日に収穫しました。茎を切った後、うねを掘ってみると大きくて見事なやはいもがたくさん出てきました。子どもたちは大喜びで、傷つけないようにていねいに掘り起こしている様子が印象的でした。「親芋はどれかな」「親芋にいくつの芋がついているかな」「芋の模様はどうなっているかな」など観察しながら、スケッチしていました。お店で売られているやはいもと変わらないような見事なやはいもでした。



テレビや本で見たりした子は多いと思いますが、実際に食べ物を育てたり、収穫したり、調理したりする経験はほとんどの子がありません。食べ物や食べ物を生産している人への感謝の気持ちを育てたり、農業への興味関心を高めたりするためにも、大切にしていきたい教育活動です。

## 子どもたちにヘルメットをかぶらせませんか？

最近、子どもたちは下校後、再び学校にやってきて校庭で友だちとボールで遊んだり、鉄棒をしたり、様々な遊びをしています。家でゲームをしているより健康的であり、とても良いことだと思います。しかし、心配になることが一つあります。それは、「子どもたちの多くは自転車に乗って学校に来るのですが、ヘルメットをかぶっている子どもがほとんどいない」ということです。

本校の「学校・児童のきまり」の中で、自転車については次のようになっています。

□校外での生活（保護者の責任のもとで）

◎ 自転車に乗ってよい範囲（交通ルールを守り、正しい乗り方をする。）

1・2年……自宅のまわり

\*保護者の責任のもと、自宅のまわりや公園等で乗るようになる。

3・4年……玉幡小学校の校区内

\*3年時の自転車教室を受けた後、公道に出てもよいものとする。

5・6年……旧竜王町内

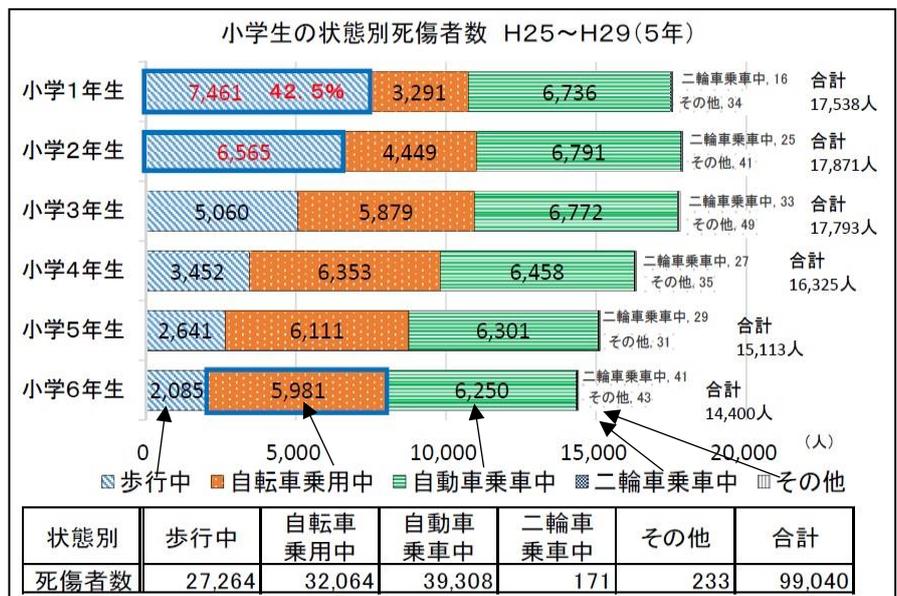
※安全のためヘルメットをかぶりましょう。



子どもたちが自転車に乗るのは下校後や休日であり、学校管理下ではないので、学校が強制することはできません。しかし、子どもたちの安全を考え、「保護者の責任」で上のように指導してほしいという希望が書かれています。

右のグラフを見ると、小学3年生以上で交通事故によって死亡したり、けがをしたりする割合は、歩行中よりも自転車乗車中の方が圧倒的に多いことがわかります。「自転車死亡事故の損傷主部位の7割は頭部である」というデータからも、ヘルメットをかぶることで、多くの命が救えることはほぼ間違いありません。

12月3日の朝の全校集会で、私は「自分の命を守るために自転車に乗るときはヘルメットをかぶりましょう。」「持っていない人は、おうちの人と相談してみよう。」と話しました。是非、ご家庭でも話題にしてください。



警察庁交通局 H30. 3. 22 「児童・生徒の交通事故」より